

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	商工観光課
課名	商工観光課

予算	款	項	目	決算書	
	7	1	2	168	頁

目名	商工振興費
----	-------

事務事業名称	商工業振興事業
--------	---------

1. 概要

目的	商工業の企業活動が活発となり、市民の交流とにぎわいを再構築する。	対象	経営者(中小企業)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○商工業推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市商店街及び商業集積地活性化計画策定事前調査(緊急雇用事業)・・・事前調査委託料 ・商業活性化支援補助金(臨時)・・・農商工連携イノベーション事業補助金 ・市融資制度補助金(臨時)・・・信用保証料補助金、預託金 ・商工会、各種団体補助金及び負担金(経常) ○商業集積地管理事業 <ul style="list-style-type: none"> ・田中商業集積地内舗装工事(きめ細かな交付金事業)・・・改修工事費 ・祖母の郷、交流とにぎわいの拠点施設(あさじキュービレッジ)、田中商業集積地の管理費(経常) 		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	商工業推進事業	中小企業振興資金預託金	貸付金	67,282	66,317	14,011		30,788	21,518	2
臨時	商業集積地管理事業	田中商業集積地内舗装工事(きめ細かな交付金事業)	工事請負費	8,443	7,831	4,500			3,331	2
計				75,725	74,148	18,511	0	30,788	24,849	

2. 指標設定

成果指標	指標名	事業所数	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	2,200件			経営者及び起業者の支援は、地域活性化に向けた基本的な施策であるため			
活動指標	指標	a	商工会員数	b	新規起業数	c		d
	数値	目標	1,200人	目標	—	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
事業所数	件	—	2,012 件	2,009 件
			91.5 %	91.3 %

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 商工会員数	人	972 人	947 人	924 人
		81.0 %	78.9 %	77.0 %
b 新規起業数	人	—	—	—
		—	—	—
c				
d				

4. 課題と対応

課題
①空き店舗の増加、後継者不足 ②加工品の開発、販売活動
対応（改善点等）
①空き店舗の活用、起業支援、消費者ニーズへの対応 ②加工部門の強化

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

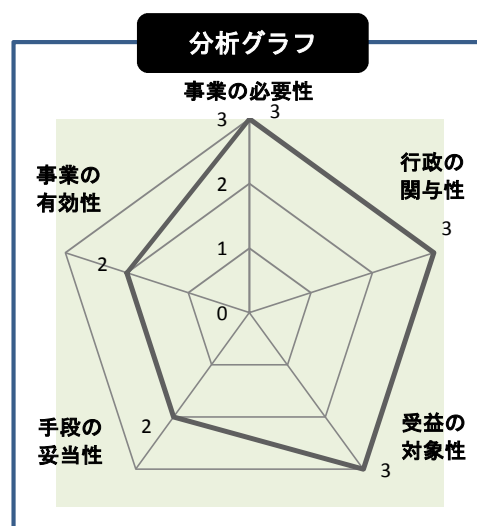
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		44,166	72,977	74,148	54,978
うち経常経費		22,131	21,977	21,564	21,251
財源内訳	国費	20,800	30,000		
	県費	28	4	18,511	4
	市債				
	その他	1,184	1,170	30,788	30,789
	一般財源	22,154	41,803	24,849	24,185
うち経常		22,131	20,803	20,772	20,458
事業費に係る人件費		2,560	2,628	2,580	2,576

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
商業後継者の育成や起業支援等を継続して行うために必要

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 地域の活性化のため商工業の振興が必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 市民生活に欠くことのできないインフラを強化する必要がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 生活インフラが活性化することは、市民の利益につながる
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 経営者数の増加が活性化につながる。しかし、それ以外の指標についても検討する必要がある
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 達成率が低いので新規起業者に対する支援等に取り組む



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	補助金交付要綱を順守し、さらに事業効果を上げるよう取組むこと